

令和3年度 第9回浦川原区地域協議会 次第

と き 令和3年12月22日(水) 18時00分から

と ころ 浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4、5

1 開 会 (:)

○会議の成立確認(成立出席委員数6人) 出席委員数____人 欠席委員数____人

○会議録の内容確認者の指名 確認委員の氏名 宮川勇 委員

2 協 議

(1) 地域協議会に関する意識調査結果に基づく取組の検討結果のまとめについて(資料1)

(2) 自主的審議事項を検討するための提案の取扱い(今後の進め方など)について(資料2)

3 報 告

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 市からの報告

4 その他

5 次回の会議日程

・令和3年度第10回地域協議会

日時：令和4年 月 日 () 時 分から

会場：_____

6 閉 会 (:)

地域協議会に関する意識調査結果に基づく取組の検討結果のまとめについて

■ 地域協議会において取組の検討をお願いしたいこと

ア 意見交換について

主な回答	各地域協議会における今後の取組（案）	浦川原区地域協議会での検討結果
<ul style="list-style-type: none"> 協議会が地域課題の解消に向けて取り組むためには、地域の団体等との意見交換や情報共有が必要 課題に気付き、自分たちで解決していかなければならないという思いを住民と協議会委員の両方が共有しながら議論を進めることが必要 日頃から協議会と諸団体の間の風通しをよくしておくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題の把握・解消に向けた、住民組織、福祉・スポーツ団体、町内会、地域住民、他の地域協議会等との話合いの一層の活性化 	<p>主に町内会を対象としている出張地域協議会を継続しつつ、新たに、若者や子育て世代など年代層別に意見交換会を開催し、課題を把握する。</p> <p>なお、必要に応じて分野別に委員を班分けするなど、小グループによる実施を検討する。</p> <p>【参考】 R2. 11. 27 菱田集会所で実施（参加者：9人） R3. 6. 26 谷集会所で実施（参加者：15人） ※今後、末広地区と中保倉地区で実施予定</p>

イ 会議運営について

主な回答	各地域協議会における今後の取組（案）	浦川原区地域協議会での検討結果
<ul style="list-style-type: none"> 会議の開催日時が不定期で、予定が立てにくかった。 月1回の会議だけでは取り組むテーマの解消ができない。 毎回1時間程度の協議時間が設定されているが、議論の内容を深めるゆとりがなく時間切れになる。 学習会や先進的地域への研修視察を重視すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 委員が会議に参加しやすくなるような、開催日時や回数の柔軟な設定 	柔軟に対応しており、今までどおりでよい。
	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて日を改めて協議を行うなど、議論が深まるような運用 	
	<ul style="list-style-type: none"> 自主的審議事項等の議論がより一層深まるよう、議論に必要な情報を得るための視察や研修の積極的な実施 	区内の現状を把握するため、学校や団体等への視察を行うほか、現在、検討を進めている自主的審議の状況に応じて、必要であれば研修会や勉強会を開催する。

(つづき) イ 会議運営について

主な回答	各地域協議会における今後の取組（案）	浦川原区地域協議会での検討結果
<ul style="list-style-type: none"> 委員の責務として、全ての議題に対して各委員から必ず発言していただくような会議運営にしてほしい。 協議会に参加してもなかなか発言できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の進行を担う会長が全ての委員へ発言を求めるなど、多くの委員に発言の機会を設けるような配慮 	<p>各委員は積極的に発言しており、委員に発言を強要するような運営の仕方はかえってよくない。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 分科会やグループワーク等、小規模な話し合いの場を適宜設けるなど、委員が発言しやすい雰囲気づくり 	<p>より自由に、フランクに委員同士で話し合いや意見交換のできる場（委員全員ではなく、少人数で話し合うことのできる場…非公開）を設ける。</p>

ウ 情報発信について

主な回答	各地域協議会における今後の取組（案）	浦川原区地域協議会での検討結果
<ul style="list-style-type: none"> 地域住民等から協議会の活動に関心を持ってもらうために「地域協議会だより」を工夫し委員の声などを載せ、より親しみのある内容にしていく。 各地域の取り組み等を定期的に「地域協議会だより」として回覧板でも良いので多数発行し、活動内容を理解してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の活動に市民から関心を寄せていただけるように、地域協議会だよりに委員の声や自主的審議の進捗状況等を掲載するなどの工夫 	<p>地域協議会の活動への理解を深めてもらえるように、地域協議会だよりに自主的審議の協議過程も掲載する。</p> <p>また、防災行政無線による周知について、単なる開催のお知らせではなく、具体的な会議内容をアナウンスに盛り込む。</p>

自主的審議事項を検討するための提案の取扱い（今後の進め方など）について（案）

テーマ	委員提案内容	グループ分け
◆未来の浦川原を担う子どもたちの育成、地域への愛着醸成	6 村松副会長…未来の子ども達が浦川原区内に住み続けるまちづくり 7 春日委員…地域の絆を育てる場づくりを提供（子どもから高齢者まで一堂に集まり、1つの事を成し遂げる事業） 9 北澤(正)委員…浦川原区の伝統芸能・郷土芸能としての雅楽（子供雅楽）の復活と伝承・継承	Aグループ 春日委員 北澤(正)委員 宮川委員 杉田委員 赤川委員 相澤委員 池田副会長 7人
◆若者・子育て世代に向けた取組		
○若者・子育て世代のニーズを把握するための意見交換	3 宮川委員…これからの浦川原区について	
若者に特化したテーマ（自然な出逢いの場づくり）	11 杉田委員…結婚したい人のための出会いの場の創造	
○人口減少傾向への歯止め	1 赤川委員…浦川原地区の人口増を考える 2 相澤委員…大浦安の人口流出を止めよう（浦川原区で宅地提供を）	
◆文化の伝承	10 北澤(正)委員…浦川原の姿をアーカイブとして後世に残す	

テーマ	委員提案内容	グループ分け
◆大浦安を視野に入れた広域的な課題（※共通課題の解消に向けた合同形式の自主的審議事項）		Bグループ 藤田会長 村松副会長 五井野委員 小野委員 北澤(誠)委員 5人
○中山間地域における公共交通の在り方	4 藤田会長…北越急行（ほくほく線）を、より利用し存続を図るため、あらゆる分野で手立てを講ずる 5 村松副会長…浦川原区内公共交通の在り方	
○大浦安における学校の在り方	8 五井野委員…浦川原区・安塚区・大島区3区の小中学校の今後の方向性を考える	